

# LEVO

LEVOから始まる  
エコロジー  
LOVEから生まれる  
未来の地球

私たちの未来と青い地球を守るために  
人と環境に優しい交通の実現をめざします



一般財団法人

環境優良車普及機構

# 美しい環境と限りある資源を未来へ

エネルギー源のほぼ100%を石油系燃料に依存する自動車運送事業の脆弱性やバス・トラックの排出ガスによる大気汚染等の問題は、かねてより自動車運送事業における大きな課題でありました。これらの課題を解決し、自動車燃料の多様化や交通公害の防止を促進することを目的として、メタノールを燃料とする新しい自動車の普及を図る「日本メタノール自動車(株)」が昭和60年に設立されました。

当機構は、この日本メタノール自動車(株)をその出発点とするものであります。同社は平成11年に「(財)運輸低公害車普及機構」として再出発し、運輸燃料の多様化や自動車の排出ガス対策に加え、新しい地球規模での環境問題であるCO<sub>2</sub>削減の問題にも精力的に取り組んで参りました。

具体的には、天然ガス自動車を中心とする環境優良車の普及やエコドライブの推進その他ハード・ソフトの両面からの自動車運送事業者の省エネ対策等に力を注いで参りました。平成24年には、公益法人改革を機に、名称を「一般財団法人環境優良車普及機構」と改めるとともに、これまでの環境、省エネ対策に加え、交通の安全対策にも積極的に取り組むこととしたところでございます。更に平成26年度からは「中小トラック運送業者向け環境対応型ディーゼルトラック補助事業」の、また平成28年度からは「物流分野におけるCO<sub>2</sub>削減対策促進事業」のそれぞれ補助事業者(執行団体)として、環境省・国土交通省連携の政策推進のお手伝いをさせていただいております。

この間、地球環境問題について、京都議定書に代わる新しい国際的枠組みであるパリ協定が発効し、我が国は「2030年度に2013年度比26%



一般財団法人環境優良車普及機構  
会長 岩村 敬

の温室効果ガス削減」との新たな目標を掲げ、更なるCO<sub>2</sub>削減に取り組むこととなりました。加えて我が国に大きな爪痕を残した東日本大震災をはじめ、大規模自然災害が発生するたびに、我が国のエネルギー構造、とりわけ運送事業における極めて高い石油への依存の脆弱性が再認識され、「運輸エネルギーの多様化」の必要性が指摘されています。

NOx・PMやCO<sub>2</sub>の削減をめざす自動車の環境対策や輸送の効率化の推進、運輸エネルギーの多様化を中心とするエネルギー・セキュリティへの取り組み、そして近時の事業用自動車の事故を契機に関心が高まっている交通安全の確保は、運送事業の抱える喫緊の課題であると同時に、不断の、息の長い取り組みが必要です。同時に、これらの課題を解決することは直ちに事業収益に結び付くものではないことから、政策的な支援を必要とする課題でもあります。

私共、環境優良車普及機構は、このような政策支援の一翼を担い、微力ながら皆様方と国等との架け橋となって、今後とも全力でその使命を果たして参る所存ですので、皆様方におかれましても、引き続き温かいご支援・ご協力の程、宜しくお願いたします。



# LEVOの概要

- 名 称 一般財団法人環境優良車普及機構 (LEVO)
- 事業開始 平成11年4月
- 所在地 東京都新宿区四谷2丁目14番地8
- 会 長 岩村 敬
- 理 事 長 堀家久靖
- 常務理事 今井 武人



当機構のマークについて

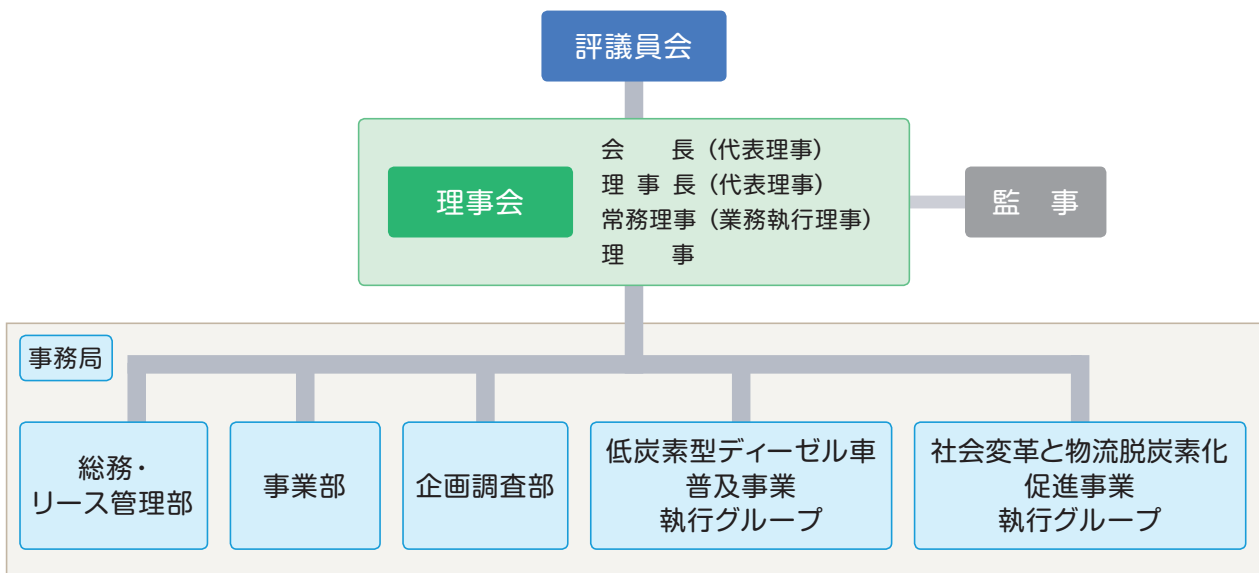
青い円は美しい地球の環境を  
 緑の帯は持続可能な自動車交通を  
 赤い円はクリーンなエネルギーを  
 表し当機構の理念を象徴しています。

LEVO  
 ORGANIZATION FOR THE PROMOTION OF  
 LOW EMISSION VEHICLES

## 事業概要(事業の5本柱)

1. 環境優良車の普及促進
2. 環境・省エネ対策の推進
3. 交通安全施策の推進
4. 補助事業の執行
5. 調査研究・広報啓発

## 組 織

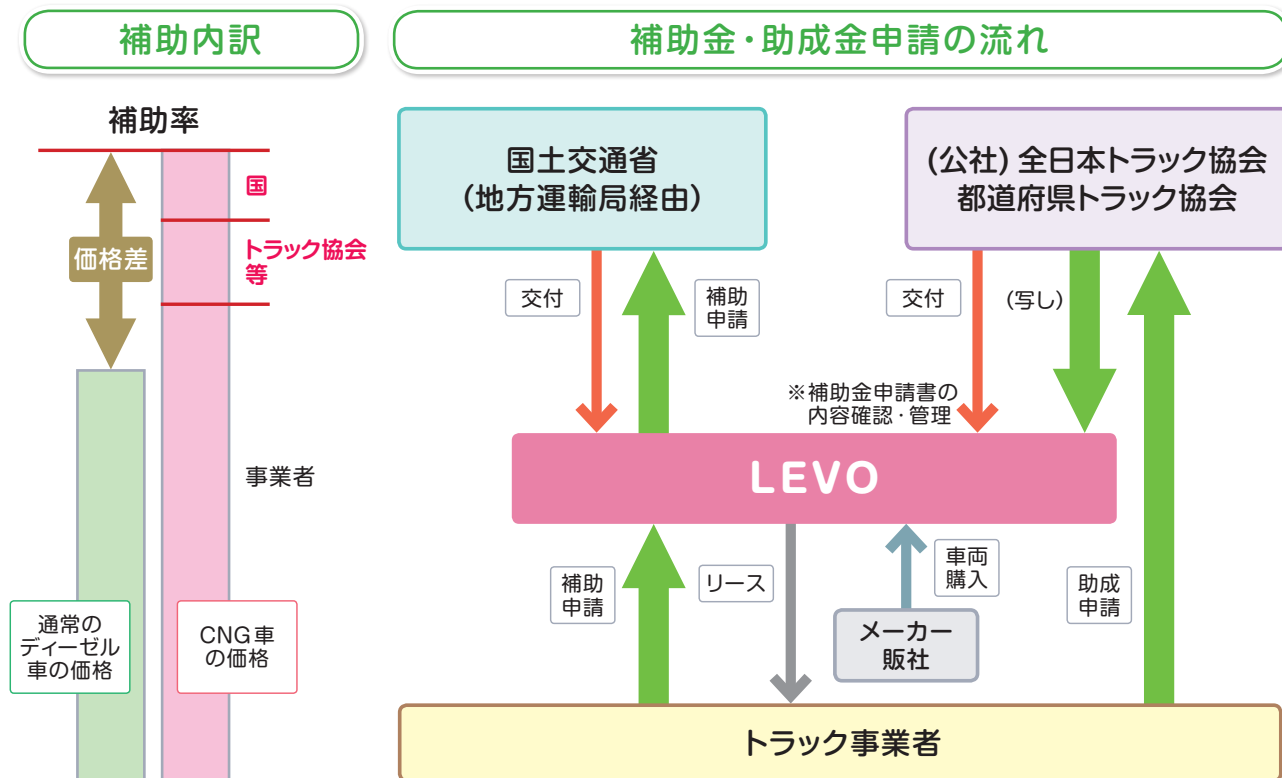


# 1. 環境優良車の普及促進

自動車運送事業者等に対して、排出ガス性能に優れた燃費の良い環境優良車の導入を促進するため、国等の補助制度やLEVOのリースを活用して、環境優良車の普及促進を図っています。



## 環境対応車・国土交通省補助金のしくみ (LEVOリース)



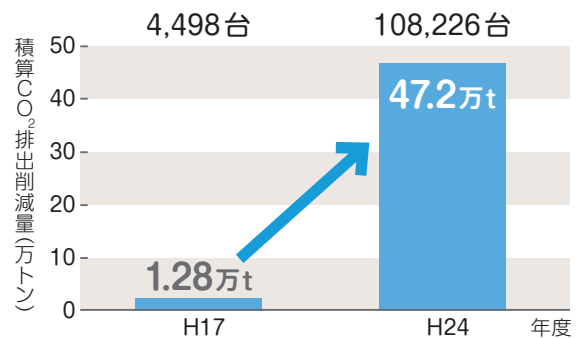
## 2. 環境・省エネ対策の推進

自動車交通分野のCO<sub>2</sub>排出削減策として有効なエコドライブをサポートするため、エコドライブ支援機器（EMS 機器）の普及とエコドライブ総合診断、エコドライブコンサルタントなど、ハード・ソフトにわたる事業により、環境・省エネ対策を推進しています。

### エコドライブの推進

#### エコドライブによるCO<sub>2</sub>削減効果

平成17～24年度までに、LEVOを通してEMS機器を装着した自動車約10万台が、1年間に削減するCO<sub>2</sub>排出量は、約47.2万トンとなりました。これは、京都議定書目標達成計画において、運輸部門が削減の目安とした14～17百万t-CO<sub>2</sub>の2.8～3.4%（車両1台当たりの平均削減量のおよそ12～15倍）に相当します。



#### エコドライブ総合診断

エコドライブの運転テクニックだけでなく、運行管理や整備管理等にもまたがる総合的なエコドライブ診断・指導を実施しています。

#### エコドライブコンサルタント

LEVOは、これまでに行ってきたエコドライブ普及事業を通じて得られた知見を活用し、エコドライブ指導を行っています。

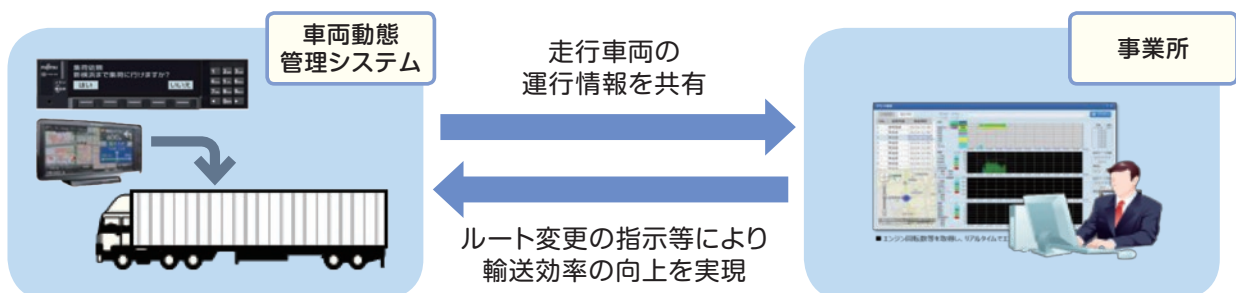
### 輸送の効率化支援

運輸部門の最終エネルギー消費量は日本全体の約2割で産業部門に次いで多く、運輸部門の省エネ対策を進めることが重要です。

そのため、国からの補助金を活用し、運送事業者と荷主との連携による輸送の効率化等を図り更なる省エネを行います。

#### 車両動態管理システム

車両動態管理システムの導入を通じ、車両の位置情報等を活用した輸送ルート最適化などの運送事業者と荷主との連携による省エネ対策を推進します。



## 3. 交通安全施策の推進

事故の発生を未然に防ぐため、安全運行をサポートする機器を、国の補助制度やLEVOのリースを活用して普及促進を図るなどハード・ソフトの両面から交通安全施策を推進しています。

### デジタル式運行記録計

国土交通省の補助等を活用して、自動車運送事業者に対するデジタル式運行記録計の普及促進を図っています。



デジタル式運行記録計

### ドライブレコーダ

- 国土交通省の補助等を活用して、自動車運送事業者に対するドライブレコーダの普及促進を図っています。
- 都道府県トラック協会の貨物自動車用ドライブレコーダ助成事業を支援するため、「貨物自動車用ドライブレコーダ選定ガイドライン」に基づき、助成対象機器の選定を行っています。
- (公社)全日本トラック協会の安全装置等助成対象機器の選定を行っています。



貨物自動車用  
ドライブレコーダ

### 過労運転防止機器

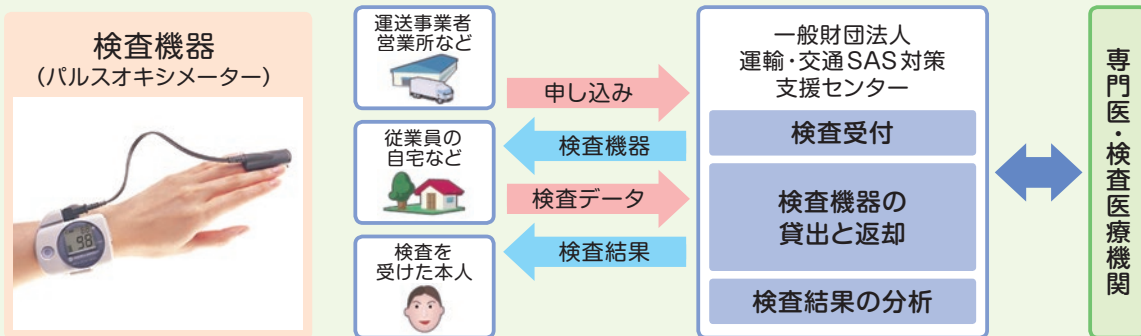
運転者の過労運転を防止し、居眠り運転等を原因とする重大事故を防ぐための機器で国土交通省の補助等を活用して、普及促進を図っています。



過労運転防止機器

## 一般財団法人運輸・交通SAS対策支援センターの活動を支援

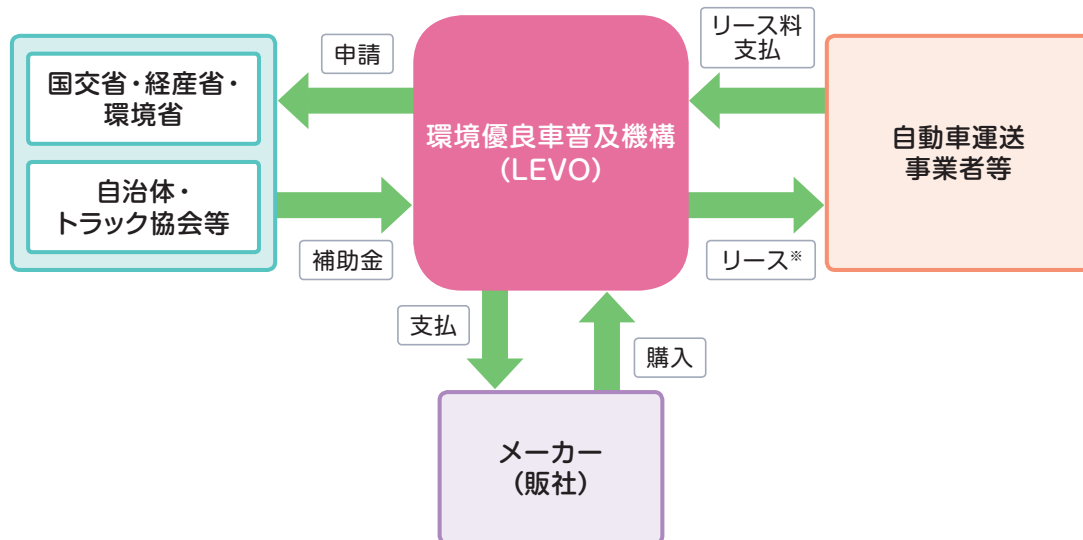
一般財団法人運輸・交通SAS対策支援センターは、睡眠呼吸障害等に関するスクリーニング検査、その他の運輸交通等の事業に従事する皆様の健康の維持・管理に関する事業等を行うことにより、運輸・交通事業等における事故の軽減・防止、安全性の向上を図ることを目的とした法人であり、LEVOは、その活動を支援しています。



# LEVOリースによる環境優良車、環境・省エネ、交通安全機器の普及

自動車運送事業者等を対象とした車両及び機器のリース事業を行っています。  
LEVOのリース事業では、国の補助制度に係る諸手続きや各種データ等の収集・分析などのフォローアップを通じて、自動車運送事業者等を総合的に支援しております。

## LEVOリースのしくみ



※補助金分を減額したリースとなります。  
(補助金のないリース(一般リース)も実施しています。)

### リース対象

#### 環境優良車等

- CNG車
- ハイブリッド車
- 電気自動車
- 低燃費・低排出ガスディーゼル車

#### 環境・省エネ機器、交通安全機器等

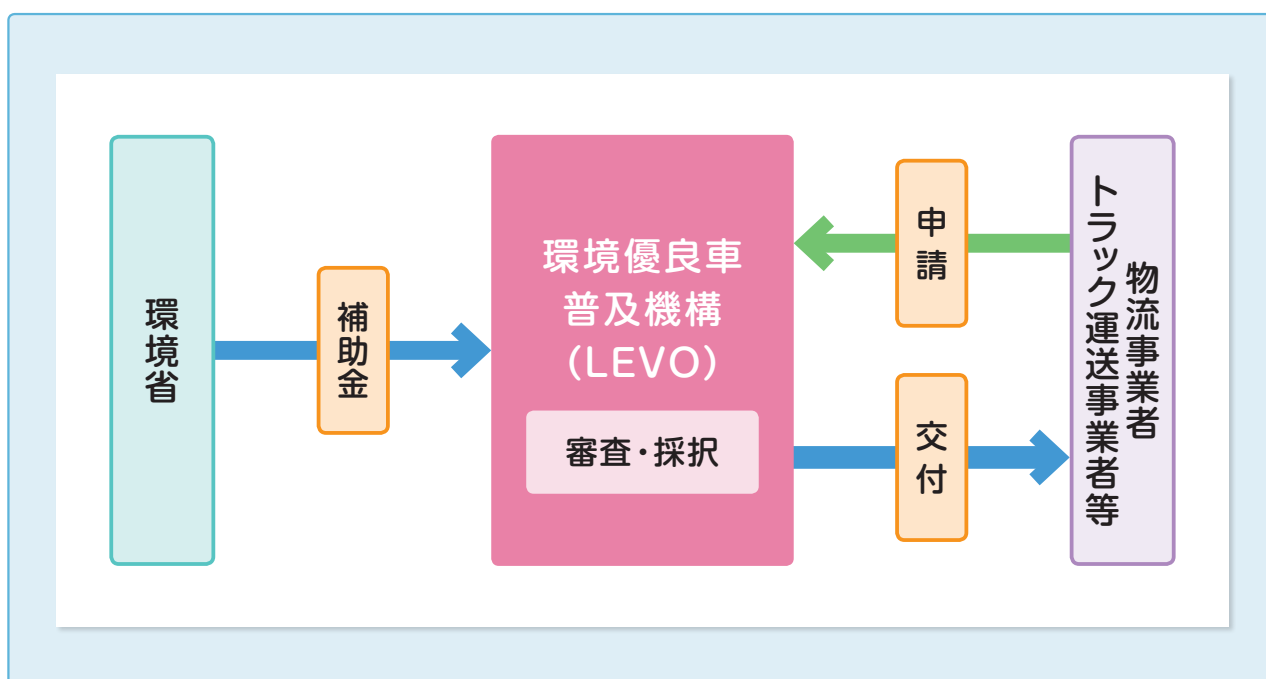
- EMS 機器 (エコドライブ管理システム)
- デジタル式運行記録計 (国土交通省補助)
- ドライブレコーダ (トラック協会補助) 等安全機器

## 4. 補助事業の執行

環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を交付する事業を実施しています。

### ■ 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

- (低炭素型ディーゼルトラック等普及加速化事業)
- (社会変革と物流脱炭素化促進事業)



#### 低炭素型ディーゼルトラック等 普及加速化事業

「低炭素型ディーゼルトラック等普及加速化事業」では、中小トラック運送事業者におけるトラックの更新需要をトップクラスの燃費レベルの車両に誘導し、保有車の燃費水準向上を図ることにより、トラック輸送におけるCO<sub>2</sub>排出削減を図ります。

#### 社会変革と物流脱炭素化 促進事業

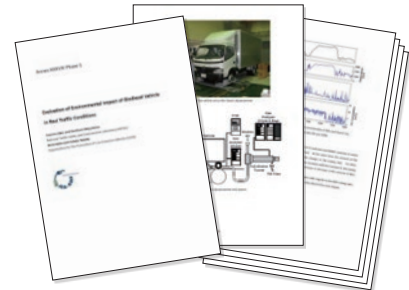
「社会変革と物流脱炭素化促進事業」においては、社会課題と物流の脱炭素化・低炭素化の同時解決を図る先進的な設備導入を支援することにより、物流のCO<sub>2</sub>排出量削減とともに人口減少・高齢化に伴う労働力不足、地域の物流網維持、防災・減災等の課題解決を図り、社会変革を同時実現することを目的とします。



## 5. 調査研究・広報啓発

### IEA(国際エネルギー機関)への参加

日本政府指定機関として、IEAの自動車用先進燃料技術連携プログラム(AMF TCP)に参加し、次世代自動車や自動車用代替燃料の普及に関する国際共同研究や各国研究機関等との情報交換を行っています。



共同研究報告書



第56回 IEA 執行委員会(於 インド)



第54回 IEA 執行委員会(於日本)

### 環境優良車等の普及に関する調査研究

環境優良車等の普及に関する調査研究・実証走行試験や自動車運送事業用車両の環境保全、省エネルギー、交通の安全等に資する使い方やその他運行の管理に関する調査研究を行っています。



海外調査(中国 LNGトラック情報)



大型 CNGトラック燃費実証試験

#### 調査研究テーマ例

- 環境優良車の性能、使い方に関する調査
  - ・CNG車実証走行試験
  - ・ハイブリッド貨物自動車の燃費調査
  - ・CNGトラックの普及方策、海外の情報等に関する調査
  - ・電気バス、電気トラックの導入に関する情報収集
- 自動車運送事業用車両の省エネ分析
  - ・エコドライブコンサルタント
  - ・貨物自動車の燃費分析等

## 自動車環境講座

運送事業者や学生等自動車環境問題に関心をお持ちの方を対象とした「LEVO自動車環境講座」を実施しています。講座では、これまでの普及活動の中で蓄積してきた自動車の環境・エネルギー問題を解説します。



## 広報・啓発

国や地方公共団体等が実施する環境優良車の普及に係わるイベントに積極的に参画し、環境優良車普及の重要性を広く広報・啓発しています。



LEVOのホームページ、機関誌 (LEVONEWS) 及びメルマガ等を通じ、環境優良車等に関する情報を発信しています。



## 総務・リース管理部

### リース事業全般

- 社名・住所・連絡先の変更手続き
- 再リース、買取、返却等リースアップ時の手続
- リース料等お支払い関係

TEL (代表)

03-3359-8461

FAX 03-3353-5439

## 事業部

### 業務班 環境優良車（低公害車）関連

- 車両に関するリースのお見積り、ご契約、お問合せ
- 車両に関する補助金申請等



TEL 03-3359-8536

FAX 03-3353-5430

### 審査班 環境機器、安全機器関連

- デジタルタコグラフ、ドライブレコーダ
- 過労運転防止機器、安全機器関連
- その他機器等一般リース



TEL 03-3359-8465

FAX 03-3353-5435

## 企画調査部

### 調査研究関連、ドライブレコーダの選定

- IEA(国際エネルギー機関)への参加及び国際共同研究の実施
- ドライブレコーダの選定事業  
安全装置等助成対象機器選定事業  
エコドライブ総合診断事業
- LEVO自動車環境講座



TEL 03-3359-9008

FAX 03-3359-5431

## 低炭素型ディーゼル車普及事業 執行グループ

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素型ディーゼルトラック等普及加速化事業)の執行



TEL 03-5341-4577

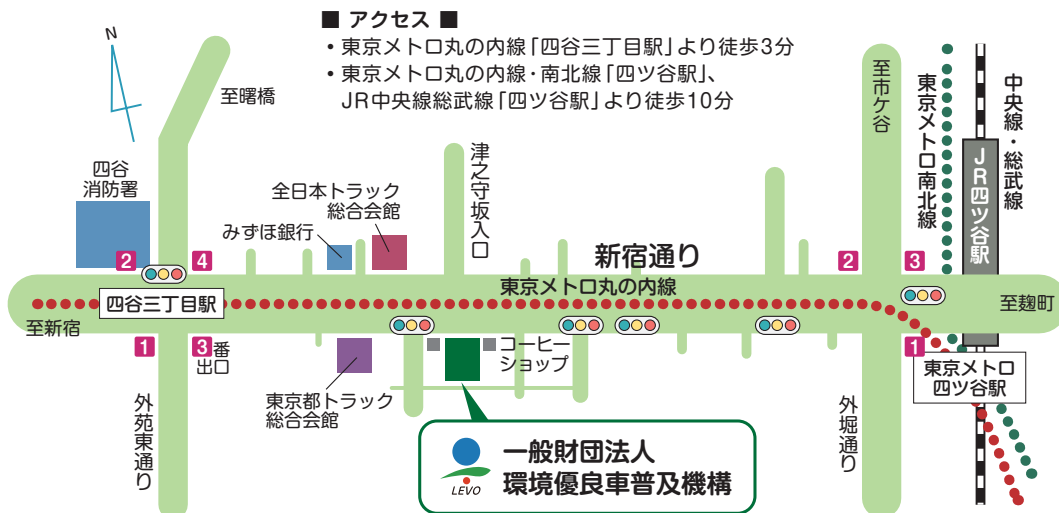
FAX 03-5341-4578

## 社会変革と物流脱炭素化促進事業 執行グループ

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業)の執行

TEL 03-5341-4728

FAX 03-5341-4729







一般財団法人  
**環境優良車普及機構**

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目14番地8 YPCビル

TEL : 03-3359-8461(代) FAX : 03-3353-5439

<https://www.levo.or.jp/>